

## ボジョレー速報 2014年

現在ブドウはヴェレゾンの真っ最中で、収穫へのカウントダウンも始まりつつある状態だ！2014年は、前半は開花も順調に終わり、まるで長く押しつぶされていたエネルギーが一気に爆発したかのようにブドウの成長に勢いが見られた。だが、7月後半に入り一転、雨が多く気温の上昇しない不安定な天気が続く、ブドウの成熟にブレーキをかけている。このままの天気が続けば、ブドウの腐敗リスクが高まり2012年、2013年のような厳しいミレジムとなるのは必至だ。しかし、これから天気が回復すれば、まだまだビックヴィンテージの可能性も十分にある！

際どい天候の中、カリーム、ジャン、そして初リリースのフレッド&ケヴィンは果たしてどのような対策を講じているのか！？

### ☆ カリーム・ヴィオネ

2014年も一転厳しい年となりそうだ…。6月10日の雹害は面だった被害はなかったが、7月13日の2回目の雹は勢いが強く、ボジョレー・ヴィラージュ「KV スペシャル」の畑を襲い壊滅、さらにヌーボーの畑「ランシエ」も2割ほど被害を受けた。さらに、7月17日、18日の猛暑！西日を受けたブドウの粒が焼けて茶色く変色してしまった。それだけではなく、極度のストレスからか、果梗自体が枯れてそのままブドウが房ごと落ちてしまうような現象があった。昔を知っている古いヴィニョロンも、未だかつて経験した事の無い現象のようだ。この猛暑のショックのあとは冷夏と長雨。6月終わりまでの天気が嘘のように不安定な天候が8月13日現在も続いている。

開花は一気に終わり順調だったにもかかわらず、ここに来てヴェレゾンにバラつきが見え始めている。収穫は9月12日前後を予定。ここから収穫まで天候が良ければ、それなりに均等にブドウが熟してくるだろうが、もし現在のような悪天候が続けば、ブドウが熟す前に腐敗が蔓延してしまうかもしれない。いずれにせよ、今できることは、ブドウのまわりに湿気を溜めこまないように、雑草を手で刈るしかない。

一方、故ジュール・ショヴェが所有していた区画の「シャペル」は土地自体のポテンシャルがあるのか、雹や猛暑の被害もなくブドウの腐敗はほとんど見られない！今年はヌーボーにアッサンブラージュする予定なので、最終的にシャペルがヌーボーの品質を高めてくれることに期待したいところだ！

(2014年8月13日訪問)



ヴェレゾンがまばらなブドウの房



雨が上がり、日が差し込んでいる

### ☆ ジャン・フォワヤール

今年の収穫は9月5日～10日の間を考えている。今年は去年と違い開花がスムーズに進み、ブドウの病気も全くなく7月初めまでは全てが順調だった。だが、7月中旬から天候が崩れ、8月13日現在までほぼ1日おきに雨が降り、気温も日中の平均が20度を下回るなど冷夏が続いている。ヴェレゾンは7月15日辺りから本格的に始まったのだが、約1ヶ月経った現在で3割も終わっていない状態だ。2014年のブドウは、7月13日に降った雹により一部被害があったのと、7月17日の猛暑で一部焼けてしま

ったのを換算して当初の予想よりも2割くらい減りそうだが、今年は元々のブドウの量が多いので、これから収穫まで何も問題がなければ、30hl/ha～40hl/haと例年並みの収量は見込めそうだ！今のところ確信はできないが、これから収穫まで気温が上がり好転することを祈るしかない！

(2014年8月13日訪問)



ブドウの実付きはよい！



色づきはじめてのブドウもある

#### ☆ フレデリック・コサール&ケヴィン・デコンブ

7月までは天候にも恵まれ、ブドウも病気ひとつない最高の状態を保っていたのだが、7月中旬から天気がどうもおかしい…。7月17、18日には突如夕方の気温が40度まで上がり、西日を直接受けたブドウが焼けたように黒く干上がってしまうほどの猛暑に見舞われたかと思うと、それから一転して毎日のように通り雨が降り続き、今も畑はぬかるんだまま。8月13日現在も真夏だというのに日中パーカーが手放せないくらい気温が涼しく、ブドウにとって過度なストレスのかかる状況が続いている。

この環境の中、とにかくブドウの腐敗原因である湿気を取り除くことが先決だが、我々は雑草が畑の余分な水分を吸い上げるポンプの作用を活かし、あえて雑草を刈る頻度を減らして残している！ただ雑草がブドウにかかるくらい成長すると、ブドウの実のまわりに湿気が溜まり、返って腐敗しやすいので、その頃合いを見て一気に刈る。このある程度伸ばして刈る作業を地味に繰り返している。また芽かきや夏の選果などをまめに行い、常に風通しの良い環境をつくり上げていたため、今のところ猛暑でブドウが焼けただけのところ以外に腐敗は全く見られない！

収穫は当初8月28前後に考えていたが、ヴェレゾンが進んでいないので、おそらく9月10日～15日まで待たなくてはならないだろう。予報では8月18日頃から天候が回復に向かうとのことなので、ここからのブドウ成熟のラストスパートに期待したいところだ！（2014年8月13日訪問）



完璧なヴェレゾン！



もうすぐ雨が振りだす！！

前回の当たり年を予感させるレポートとは一転、ここに来て2012年、2013年を思い起こさせるような厳しい天候が続いているようだ。収穫まで1ヶ月を切った今、ただただ天候の回復を祈るのみ！！次は収穫直前のレポートをお届けします！

## ボジョレー・ヌーヴォー速報 2014年

今年もボジョレー・ヌーヴォーの季節がやってくる！

2012年、2013年と厳しいミレジムが続く中で、期待以上の高パフォーマンスを見せた、カリーム、ジャン、そしてフレッドのヌーヴォー。2014年は、前年と打って変わり、ブドウの成長に勢いが見られる！まるで近年押しつぶされていたエネルギーが一気に反発したかのようにぐんぐん成長をしている！開花も全て順調に終わり、成長サイクルとしては収穫の早かった2011年を彷彿させる。このまま天候に支障がなければ豊作、早期収穫に期待が持てる！

そして今年一番のニュースは、やはりなんと言ってもフレッド。長年親しんだラパンを離れ、新しくケヴィン・デコンブとタグを組みヌーヴォーに新たな旋風を巻き起こす！また、カリームは一昨年借り入れた故ジュール・ショヴェの畑のブドウを新たにヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ。今年は楽しみな話題が満載だ！

### ☆ カリーム・ヴィオネ

2014年は、今のところ開花も全てうまく行き、ブドウの実がたわわになっている！このまま行けばビッグヴィンテージが期待できそう！その証拠に、私の所有するフルーリーに隣接する畑に古いサ克蘭ボの木が1本あるのだが、6月25日現在でもまだ実が落ちずになり続けている。通常5月には季節の終わるサ克蘭ボだが、今年は春が暑かったのにもかかわらず1ヶ月も実がなっているのだ！食べてみると完熟しているのにまだしっかりと酸がありとても美味しい！ブドウもサ克蘭ボも同じ果物。事実、私の畑では、サ克蘭ボの実の持ちが悪くと大抵ブドウも同じく持ちが悪く、逆に持ちが良ければブドウもしっかりと成熟しやすい。まあ、あくまで目安のひとつではあるが、それでも今年のように6月終わりくらいまで完熟しても実が落ちないのはとても珍しいことだ！

6月10日に雹が降り、ヌーヴォーの区画のひとつ「ランシエ」が被害に遭いブドウに軽くシミをつけたが、今年はさくらんぼのように耐性があるのか、一度黒くシミとなった部分も今はすっかりとれてきれいになっている！

今年は、「シャペル」というムーラン・ア・ヴァンに隣接する故ジュール・ショヴェが所有していた区画のブドウもヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ！（2014年6月25日訪問）



しっかり結実している



この日も快晴！

### ☆ ジャン・フォワヤール

今年の開花は5月20日頃から始まった。去年と比べるとちょうど1ヶ月も早い！開花は2、3日とあっという間に終わり全てうまく行った。雨は6月10日に40mm、6月17日に11mmの局地的な雷雨が降ったきりで、5月から約2ヶ月降っておらず、病気も見られない！現在畑は多少乾燥気味だが、それでも地中には冬にたくさん降った雨の貯蓄があるおかげで、依然ブドウは生き生きとした状態を保っている。

ただ、ブドウの場合雨が重要なのはこれから収穫までの間で、この間に乾燥しすぎるのも良くないし、雨が多すぎるのももちろん良くないが、ヴェレゾンの前と収穫前に少し雨が降ってくれることは大歓迎だ。

このままのペースでいけば収穫は9月5日前後。夏の天気が良ければ、もしかしたら8月終わりになるかもしれない。今のところはブドウの房もたくさんあるし、病気もほとんどないので順調な限りだが、過去2年間の災難を思うと、楽観視せず収穫まで気を引き締めていきたい。(2014年6月25日訪問)



ブドウは勢いよく成長！



早ければ7月中旬にヴェレゾン開始予定

### ☆ フレデリック・コサール

9年続いたラパンを離れ、今年からケヴィン・デコンブと一緒に新たなヌーヴォーを手掛ける！コンセプトはシャソルネイのようなエレガントなヌーヴォーだ！新しいエチケットに本家シャソルネイのデザインを選んだことから分かるように、私自身シャソルネイのプライドにかけて最高のヌーヴォーをつくり上げるつもりだ。

ちなみに、今回のヌーヴォーは全て買いブドウで仕込む予定だ。買いブドウは、良いブドウだけセレクトできるという利点があり、多少値が張るが、買い先がしっかりしていれば、毎年安定して高品質のブドウを確保できる。最終的に我々の厳選する買いブドウで仕込むことに決定し、とても満足している！買いブドウ生産者は、もちろん我々と同じエスプリを持っているヴィニョロン。そして、シャソルネイのネゴスと同じように、栽培から収穫まで介入できる生産者を選んでいる！現在、ケヴィンがフットワークよく買いブドウ先の状況を見て回ってくれている。私の経験とケヴィンの才能、そして2人の情熱を注いで、日本の皆さんがアッと驚くような、とびきり美味しいヌーヴォーに仕上げてみせる！



ケヴィンはボジョレーのコサール？



ケヴィンのドメーヌの畑も順調！

ここまで、2014年は大いに期待できそうだ！だが、油断は禁物！6月28日深夜にブルゴーニュのコート・ド・ボーンー帯が3年連続となる大規模な雹の被害があった。天気が良く気温が高い分、これからも突如の雷雨と雹のリスクはまだまだありそうだが、次回も朗報をお伝えできると信じています！次回のレポートをどうぞ楽しみに！！